

令和7年10月14日

保護者の皆様

札幌市立北野小学校

校長 和島 麻子

「令和7年度全国学力・学習状況調査結果の

分析及び説明について」のお知らせ

秋冷の候、保護者の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして温かい御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に、4月17日（木）に行われた令和7年度全国学力・学習状況調査につきまして、本校の結果についてお知らせいたします。今回の結果を、学校全体の課題として捉え、今後の指導に活かしてまいります。

なお、本調査により把握できるのは、学力全般の一部であり、学校の教育活動の一側面であることを御理解ください。今後も、学校と家庭がより連携を深めながら、子どもたちの健全な成長を支えていくことができるよう、御理解と御協力をお願いいたします。

「結果の分析」の表記について

本校の平均正答率と全国平均を比較し、

+ 3.1ポイント以上 → **全国平均を上回っている。(記号△)**

+ 3.0ポイントの範囲内で全国平均を上回る
→ **全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
(記号◇)**

全国平均と同じ → **全国平均とほぼ同程度である。(記号□)**

- 3.0ポイントの範囲内で全国平均を下回る
→ **全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
(記号◆)**

- 3.1ポイント以下 → **全国平均を下回っている。(記号▼)**

と表しています。

本校の概要（内容・領域）

今回の調査における課題

改善の方向

国語

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

▼全国平均を下回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

△全国平均を上回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均を下回っている。

「書くこと」

▼全国平均を下回っている。

「読むこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

●目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

●図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

●目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。



○同音や同訓の漢字に注意し、正しい言葉遣いや漢字のもつ意味を考えて、文の中で正しく使う学習活動の充実。

○実際の話合いの場面を想定し、伝える相手を意識するとともに、話す内容や質問を分類・関係付けながら、話合いの進め方を考える学習活動の充実。

○目的に応じて文章と図表を結び付け、自分の考えを書き表す学習活動の充実。

○書く目的や意図を明確にし、条件に合わせて詳しく書いたり簡単に書いたりするなど、必要な場面を判断しながら書き表し方を工夫する学習活動の充実。

算数

「数と計算」

▼全国平均を下回っている。

「図形」

▼全国平均を下回っている。

「測定」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「変化と関係」

▼全国平均を下回っている。

「データの活用」

▼全国平均を下回っている。

●異分母の分数の加法の計算をすることができること。

●角の大きさについて理解していること。



●「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すこと。

●簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができること。

○分数の加法及び減法の計算の仕方を分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実。

○角の大きさを辺の開き具合として捉えることができるよう、実際に作図をしたり比較をしたりすることで、理解を深める活動の充実。

○基準量と比較量、割合の関係を正しく捉え、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察する活動の充実。

○様々なグラフや表の特徴を理解し、目的に応じて適切に選択したデータの特徴や傾向を捉え、判断・表現する活動の充実。

本校の概要（内容・領域）

今回の調査における課題

改善の方向

理
科

「エネルギー」を柱とする領域

▼全国平均を下回っている。

「粒子」を柱とする領域

▼全国平均を下回っている。



「生命」を柱とする領域

▼全国平均を下回っている。

「地球」を柱とする領域

▼全国平均を下回っている。

●電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いていること。

●水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解していること。

●「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。

●ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いていること。

●赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果やまとめを基に、その理由や他の条件での予想を表現することができる。

○観察、実験の結果や結論を、図に整理したり、言葉で説明したりするなど、知識と関係付けて理解を深める学習活動の充実。

○習得した知識を概念的に理解したり、既習の内容を根拠に、自然の事物・現象について説明したりするために、他の学習や生活と関連付ける学習活動の充実。

○観察や実験の結果を説明したり、比較したりするなど科学的な言葉を使用して表現する学習活動の充実。

○問題を見出すことや学習で得た知識を活用し理解を深めるために、目的の設定や達成状況の振り返り、修正するといった学習活動の充実。

肯定的な回答の多いもの

- ・「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」の合計が85%以上
- ・全国との差が顕著なもの

□基本的な生活習慣等

- ・朝食を毎日食べている。

□挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだ。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。

□学校等での生活

- ・友達関係に満足している。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。

□ICTを活用した学習状況

- ・自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができる。
- ・自分がインターネットを使って情報を収集することができる。

□課題探究的な学習等

- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

□学習に対する興味・関心や授業の理解度等

- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ・理科の授業の内容はよく分かる。
- ・理科の授業では、観察や実験をよく行っている。
- ・理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのかを考えている。

肯定的な回答の少ないもの

- ・「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」の合計が30%以上
- ・全国との差が顕著なもの

■学校等での生活

- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。

■学習習慣、学習環境等

- ・読書は好きである。

■主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。

■学習に対する興味・関心や授業の理解度等

- ・国語の勉強は得意だ。
- ・国語の勉強は好きだ。
- ・国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる。
- ・国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている。
- ・算数の勉強は得意だ。
- ・算数の勉強は好きだ。
- ・算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。
- ・理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている。
- ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見出したりしている。
- ・理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。

北野の子の健やかな成長を願って

○AARサイクル※を基に課題探究的な学習を推進し、子ども一人一人の主体性を大切にし、自分の考えをもちながら学びを進める授業構成の工夫に取り組めます。

※Anticipation（見通し） Action（行動） Reflection（振り返り）からなる反復的な学習プロセス

○ICT機器を活用した学習の充実を図るとともに、本や新聞などへの興味・関心を高め、より一層一人一人が主体的に学べる学習環境の整備に取り組んでいきます。

○友達と協力して取り組む活動や生活を振り返る場の設定、また、いじめやトラブルに学校組織として早期対応することなどで、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを推進していきます。

○「規則正しい生活」「規範意識」「学習習慣」について、家庭・地域との連携をしながら、日常の指導と併せてより一層大切に育んでいきます。